

# 共生社会システム学会ニュースレター

The Association for *Kyosei* Studies

暫定 HP <http://jaks.exblog.jp/>

2008年4月10日発行 第4号

## 目 次

1 . 2008年度「共生社会システム学会」大会開催のご案内 .....	1
2 . 2008年度大会個別報告募集 .....	2
3 . 編集委員会の活動報告 .....	3
4 . 運営委員会事務局だより .....	3

## 1 . 2008年度「共生社会システム学会」大会開催のご案内

2008 年度大会は、「地球温暖化と共生社会」を大会シンポジウムのテーマに設定（下記の大会趣意をご参照ください）し、7月26日（土）に東京農工大学小金井キャンパスにて開催されます。大会のプログラム（予定）は以下のとおりです。

### 午前の部

9:00 受付 開始

9:30 ~ 11:30 個別報告

### 午後の部

13:00 ~ 14:00 総会

14:00 ~ 17:30 シンポジウム「地球温暖化と共生社会」（以下敬称略）

座長： 平田豊（東京農工大学大学院農学府教授）

予定報告者：

三村信男（茨城大学・広域水圏環境科学教育研究センター教授）

鳥谷 均（農業環境技術研究所・大気環境研究領域上席研究員）

古沢広祐（国学院大学・経済学部教授）

18:00 ~ 20:00 懇親会（大学生協）

大会実行委員長 矢口芳生（東京農工大学大学院農学府教授）

---

## 「共生社会システム学会」2008 年度大会シンポジウムの趣意

2007 年度のノーベル平和賞にアル・ゴア元米副大統領と IPCC（気候変動に関する政府間パネル）が選ばれたことに象徴されるように、地球温暖化対策は人類が協力して取り組むべき緊急の課題として認識されつつある。また、日本政府も本年7月の洞爺湖サミットに向けて、より積極的な温暖化対策を提起しようと準備をすすめている。

しかしながら、日本は国民への意識啓発と技術開発の面で進んだ実績をもっているものの、政府全体のビジョンと「社会経済的な仕組みをつくること」において遅れをとっている状況にある。こうしたなか、地球温暖化問題を解決する社会システムのあり方を、共生の視点から問い直すことの意義は大きいといえる。

そこで、本シンポジウムでは地球温暖化がもたらす地球環境への影響を確認するとともに、とりわけ農業・食糧生産を中心に国民生活に何が起きているのかを理解し、地球環境問題に関連した持続可能な発展と社会経済的な転換の可能性について議論したい。

大会担当理事： 朝岡幸彦・野見山敏雄

---

---

---

## 2 . 2008年度大会個別報告募集

2008年度大会での個別報告の報告者を募集致します。

報告希望者は以下の要領に従って、学会運営委員会事務局までご連絡ください。

- (1)筆頭報告者は報告申込時に本学会員であること。会員でない方は至急入会手続きを行ってください。
- (2)個別報告の申込みに当たっては、a)個別報告申請書とb)報告要旨(A4・1枚 様式は、本ニュースレター裏側に示すとおり)の両方を提出すること。  
個別報告申請書は、A4判1枚に以下の内容をご記入ください。分野はプログラム編成時の参考にいたします。
- 氏名：  
報告表題：  
分野：  
所属機関：  
連絡先住所：  
連絡先電話番号：  
FAX(もしあれば)：  
E-mail(もしあれば)：

(3)報告時間は報告20分、質疑応答10分です。

(4)提出方法： 学会運営委員会事務局まで、郵送またはEメールでの添付  
〒183-0059 府中市幸町3-5-8 東京農工大学農学部 千年研究室気付  
「共生社会システム学会」運営委員会事務局宛 chitose@cc.tuat.ac.jp (千年)

(5)提出締切日： 2008年6月16日(消印有効)

---

---

## 3 . 編集委員会の活動報告

学会誌『共生社会システム研究』第2巻は、2008年度7月末の発刊を目標に編集作業を進めています。第2巻は2007年度大会シンポジウム報告者による論文と一般投稿論から構成される予定です。

第3巻以降については随時、投稿論文を受け付けておりますので、会員各位におかれましては奮ってご投稿ください。投稿規程などの詳しいことは学会ホームページ <http://jaks.exblog.jp/>内の「投稿規程」を参照してください。また、投稿原稿の執筆および提出の際は、同ホームページの「執筆要領」に従って作成・提出してください。

投稿についての質問および問い合わせは、下記、編集委員長 武田までお願いします。

『共生社会システム研究』編集委員長 武田庄平  
国立大学法人東京農工大学大学院 共生科学技術研究部 比較心理学  
〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

E-mail: [takeda@cc.tuat.ac.jp](mailto:takeda@cc.tuat.ac.jp)

TEL: 042-367-5588 (ダイヤルイン)

---

---

---

---

## 4 . 運営委員会事務局だより

ニュースレターの発行が大幅に遅れましたことをお詫び申し上げます。

年内中の発行を予定していたのですが年があけ、それも束の間、はや新年度が始まってしまいました。昨今の大学学事における煩雑化に関しましては多数の会員の皆様に同意して頂けると思いますが、それが理由にせよ、学会員の皆様に最低限のサービスを提供できなかったことにつきましては深く反省しております。本年度は年4回少なくても年3回の発行を目指して行きたいと思っております。

ニュースレターの発行に関しましては、皆様から共生に関連する話題を提供して頂ければ幸いです。

さて冒頭にご報告しましたとおり、7月26日(土)に東京農工大学小金井キャンパスにて本年度の大会が開催されることが決定しました。学会員の皆様には是非ご参加頂きますようお願い申し上げます。大会趣意にありますように、本年度大会前に洞爺湖サミットが開催されます。サミットでは地球温暖化対策に向けてどのような議論が展開され、実効性のある共同声明までこぎつけられるのか大いに注目されるところです。そうした地球温暖化に関する国際政治の交渉結果をも踏まえながら、本大会で活発な議論が展開されることを期待しております。当日、学会員の皆様にも積極的に議論に加わって頂ければ幸甚に思います。

現時点において年1回開催される大会が学会員の交流の唯一の機会になっております。共生社会システム構築における諸問題の解明を模索する貴重な場といってもよろしいかと思えます。本大会が学会員皆様ご自身の研究の発展につながる機会となるよう願っております。

大会午前の部における個別報告への多数の応募をお待ちしております。若い研究者による研究途上にある試論的な報告も歓迎いたしますので、皆様の周りに適切と思われる方がおられましたら、積極的にご応募するよう呼びかけてください。

---

---

### 会費納入のお願い

まだ2007年度会費を納入していない会員におかれましては、至急会費を納入していただきますようお願い申し上げます。会費は、一般会員6000円、学生会員3000円、賛助会員20000円となっております。よろしくようお願い申し上げます。

---

---

### 今後の学会カレンダー

学会個別報告の提出締切日： 2008年6月16日(消印有効)

2008年度「共生社会システム学会」大会： 2008年7月26日(土)

東京農工大学小金井キャンパス

---

---

左マージン 23mm

天マージン 28mm

右マージン 23mm

## 共生社会とは何か

- 共生社会へのみちすじ -

1行あき

タイトルは14ポイント、サブタイトルは10.5ポイント。中央揃え

府中花子・国分寺太郎\*

(共生大学・\*共生研究所)

1行あき

著者名は12ポイント、所属は10.5ポイント。中央揃え

文は10.5ポイント、1行全角46文字、行送り15ポイント、左右揃え

地マージン 28mm

### 共生社会システム学会

会長 小原秀雄(女子栄養大学)

副会長 尾関周二(東京農工大学)

水本忠武(宇都宮大学)

### 運営委員会事務局

矢口芳生(運営委員長)

秋山満、安藤光義、稲村亮、千年篤、

中尾誠二、中島正裕、吉田央

共生社会システム学会ニュースレター 第4号 2008年4月10日発行

編集・発行 共生社会システム学会運営委員会事務局

連絡先 〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 東京農工大学農学府 千年篤研究室 気付

TEL: 042-367-5687 E-Mail: chitose@cc.tuat.ac.jp

郵便振替 00130-6-372850 (加入者名) 共生社会システム学会